

高機構人発第108号
令和3年10月6日

各国立大学法人学長
各国立高等専門学校長 殿
各大学共同利用機関法人機構長

大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構長
山内 正 則
(公印省略)

令和3年度高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウムの
開催について（通知）

来年度より大学共同利用機関法人および国立大学法人は第4期となる中期目標期間を迎えます。高エネルギー加速器研究機構は、国力の基礎となる知のフロンティア拡張と世界的地位の維持向上の目標の下に、世界的な加速器科学の拠点の一つとして他の拠点との連携を図り、その役割と能力を維持向上させ、加速器科学の産業利用も含めた広い分野の研究開発の発展を推進する機能を担ってきました。

そこに2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、人の移動の制限等を前提とし、新たな研究スタイルを求められる時代へと突入しました。

本機構はIT技術を導入したDXにとどまることなく、教育研究機関として研究開発システム全体を新しい姿へ導く変革としてのRX（リサーチトランスフォーメーション）を推進しています。

各研究現場における技術職員にあっては、教育と研究活動における技術分野の課題解決のパートナーとして、大学、研究機関において、専門的な研究支援者として活躍がますます期待されるところです。

本シンポジウムは、技術職員に関わるこれらの課題に対する各機関の取組状況や成果、新たな課題などを中心に、情報交換と意見交換を行い、今後の業務の参考に資することを目的に開催するものです。つきましては、貴学における周知と併せて、関係職員の参加についてご配慮くださるようお願いいたします。

なお、詳細は別紙にてご案内します。